

# あすを拓く

東日本復興芝生生産事業株式会社(山元町)

代表取締役社長

大坪征一さん

Seichi Oshino



津波で大きな被害を受けた山元町  
古里再生に二役果たすべく  
73歳で芝生栽培を事業化

### Profile

1940年4月28日生まれ。山元町出身。学生時代はラグビー選手として活躍。日本大学卒業後は日産自動車株式会社でもプレーを続けた。選手引退後、地元の宮城県に戻り、37歳のときに現在も社長を務める株式会社オオツボスポーツを設立。東日本大震災後の2013年には、古里・山元町の復興を加速させるべく東日本復興芝生生産事業株式会社を立ち上げた。

大坪征一社長は御年80歳。表情は常に朗らかで、肌艶よく、声に張りがあり、実に生き生きとしている。学生時代からラグビーに親しんできたが、今も現役の選手だ。「コロナのせいで思った通りには活動できていないけど、この間は、ある知り合いの方がオープンさせたラグビー場があって、そこでプレーしてきたよ。いいタックルが一発決まったんだけど、みんなに褒められた。そう一息に話した後、にっこりとほえんだ。

現在、東日本復興芝生生産事業株式会社で代表取締役社長を務める大坪社長。会社立ち上げは2013年、73歳のときだ。日産自動車株式会社でのサラリーマン生活を終えて、地元である宮城県に戻り、仙台市で株式会社オオツボスポーツを設立したのが37歳のとき。物販販売で会社をスタートさせたが、スポーツ施設の施工の相談を多く受けた後、事業の柱をそちらへ移行。以後、社業は順調に発展を遂げると、息子2人も自社に入社し、少しずつ会社運営の権限移譲を進めていた。そんな矢先に起きたのが11年の東日本大震災。この大災害が「復興芝生」の生産で知られる

ラグビーで学んだ諦めない精神  
踏まれて強くなる芝生に自分重ねる

東日本復興芝生生産事業を立ち上げるきっかけとなっている。

「震災の翌日、山元町の実家に赴きました。そこで見たのはかつての面影が何もない古里の様子でした。涙も出なかった。ただ、何となくではあったものの、ここに新産業を立ち上げなければ、という気持ちも沸き起こっていました」

ラグビーを通じて諦めない精神を学んだ大坪社長。まさに逆境にあって、その精神が突き動かされたのだ。「芝生を手掛けてからふと思うときがあります。私の人生は芝生に似ている。踏まれて強くなってきたんです」



大坪社長は、「仕事の極意は時間厳守、そして、好きな人と付き合うこと」と教えてくれた



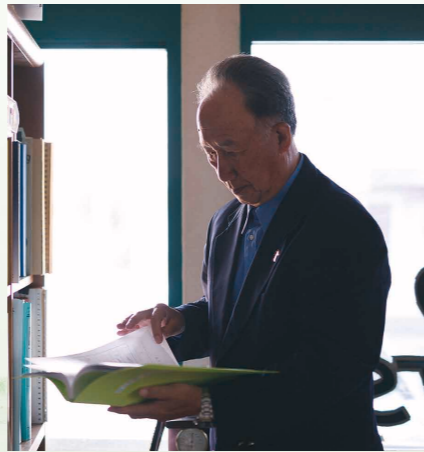
200平方メートルから始まった芝生生産はわずか7年で90倍の18万平方メートルに。大坪社長によれば、将来的には100万平方メートルまで拡大する予定だという

## 7年前「復興芝生」を商標登録 全国のスタジアムに生産物納入

震災から1年余りを経て、大坪社長は実家跡地の敷地200平方メートルに「ノシバ」を植えた。「津波で、土に塩が入ってしまったけど、芝生はその塩に強いという特性を持っている。砂地でも育つし、津波被害を受けた土地で広く栽培できるのではと考えました」。その後、専門家を筆頭に各方面に相談。事業化に確信を得て、2013年4月、賛同者5人と東日本復興芝生生産事業を立ち上げた。

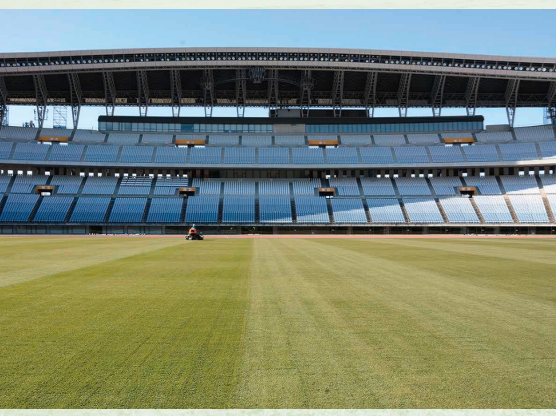
「復興芝生」は同年に秋に商標登録。ネーミングの効果は抜群だった。「他の生産地と違い、大規模栽培をしているので、スタジアムに納入するとなつたときなども高品質で均一な物を提供できます。そして、『復興芝生』という名前のおかげで確かに注目が集まった。これは実にあがたかったです」

2014年8月の初出荷後、生産依頼は途切れることがない。作付面積は現在、18万平方



メートルまで拡大している。19年秋、日本を舞台に行われたラグビーワールドカップの会場の一つとなった豊田スタジアム(愛知県豊田市)に張られた芝生も同社の生産。大坪社長は同会場の初戦となったウェールズ対ジョージア戦に招待され、観戦時は思わず目を熱くした。「自分たちが育てた芝生の上で両国の代表選手が力の限りプレーしている姿を見たら自然と涙が出ました。ラグーマンの私にとっては実にうれしいことでした」

昨年10月に張り替えが終了した宮城スタジアム(利府町)の芝生も同社生産のもの。今年に入ってもなお「コロナ禍の中でありがたいことに、首都圏のスタジアムからも注文をいただくことができました」とのこと。事業運営は順調に進行中だ。山元町では「復興芝生」を5品目の特産品に指定。「補助金をもらってトラクターを新調した」と明かす大坪社長は「まだまだ社長業からは離れられそうにないね」と言って、頬を緩めた。



東日本復興芝生生産事業株式会社

所在地/ 亘理郡山元町山寺字東泥沼 67-10 □設立/ 2013年 □人数/ 15人 □主な事業内容/ 芝生生産事業  
TEL 0223-35-7208 <http://shibahu.ec-net.jp/wordpress/>

